

今月はクリスマスプレゼントやお年玉にぴったりの本です。

『恐竜時代』

ロバート・サブダ&マシュー・ラインハート／さく わく はじめ／やく

大日本絵画 2007年 3800円

<お勧め年齢>

乳幼児★☆☆ 小低学年★★☆ 小中学年★★★ 小高学年★★☆ 中学生★☆☆
高校☆☆☆ 一般☆☆☆

(★が多い年齢の子どもにお勧めです。)

<本の紹介>

私たちが知っている恐竜、ティラノサウルスやトリケラトプスを今みることはできません。しかし、この本を開くとそれらの恐竜たちが私たちの目の前に飛び出してくれます！3D?CG? いいえ、紙です。飛び出すカードのしかけをもっともっとすごくしてたくさんの恐竜たちを紹介してくれているのです。1ページに何種類もの恐竜が飛び出してくれます！また、それだけではありません。文章を読むと、現在、恐竜の進化がどのように考えられているのかもわかります。飛び出す絵だけを楽しんでもいいですし、文章を読んで恐竜のことをより深く知るのもいいでしょう。

<子どもに手渡す時のポイント>

しかけ絵本の魔術師、ロバート・サブダが手掛けた恐竜図鑑。一度でもサブダの本を手にとったことのある方ならこれだけ聞いたら興奮せずにはられません。(もちろん私もその一人ですが(^-^)) しかけ絵本の概念を覆す美しく、繊細なしかけの数々。その分修理がきかず、公共図書館には不向きですが、学校図書館なら子どもたちは大切にしてくれるかもしれません。また、プレゼントにもぴったりです。

このコーナーで紹介した本はお近くの図書館や書店に置いてあります。ぜひ手にとってみてください。

※今回の紹介本は作りの関係上公共図書館では見ることができないと思います。申し訳ありません。